

平成30年度 高齢者交通安全対策事業

実施日： 6日間

前期： 5月22日、6月 5日、 7月 3日

後期：10月 2日、11月 6日、12月 4日

参加者：107名

海南市老人クラブ連合会会員 25名

紀美野町老人クラブ連合会会員 28名

一般応募(海南市在住) 1名

海南市女性会員 18名

紀美野町地域サロン会員 18名

海南市内海公民館会員他 17名

海草振興局

高齢者の個々の運転技能に応じた交通安全対策事業

海草振興局

【目的】

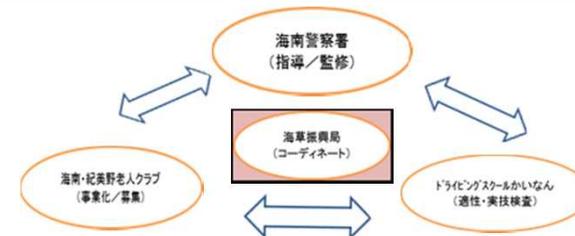
高齢者及びその家族に、現在の運転技能を正確に認識する「気づきの機会」を提供することで、高齢ドライバーの加害事故を防止する。

【特色】

地域の老人クラブ、警察署、自動車教習所による協働・実践型の交通安全対策事業
ドライブレコーダを活用し、個々の高齢者が自分の運転技能を可視化

【特徴】

家族ぐるみで運転技能を認識してもらう
警察官が個別アドバイスをする
地元の自動車教習所が全面的協力(無償)



【実施内容】

教習所指導員の
運転実技チェック



視力・視野角度チェック



ドライブレコーダー映像をもとに
海南署警察官による個別アドバ
イス



参加者内訳と運転の状況(その1)

【参加者(107名)内訳】

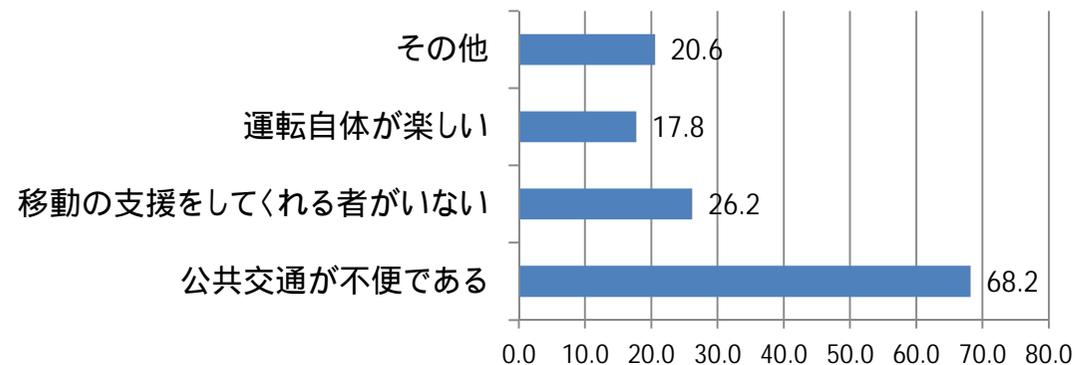
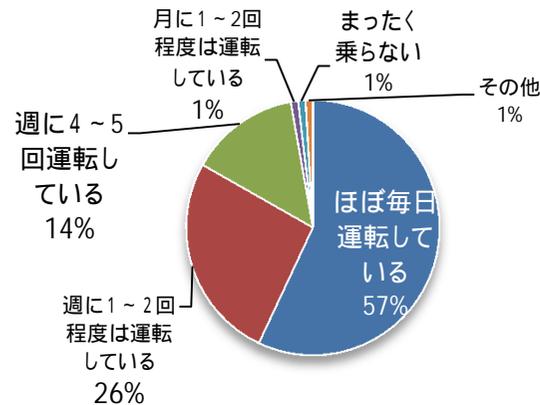
平均年齢 73.3歳

男女比	全体	人数	割合
男性	107	50	46.7
女性	107	57	53.3

年代	全体	人数	割合
50代	107	2	1.9
60代	107	28	26.2
70代	107	59	55.1
80代	107	18	16.8

最高齢	88
最年少	56

【運転の状況と運転する理由】



運転する理由については、「公共交通が不便だから」が最も多く約7割、「移動の支援をしてくれる者がいない」が3割近い回答。

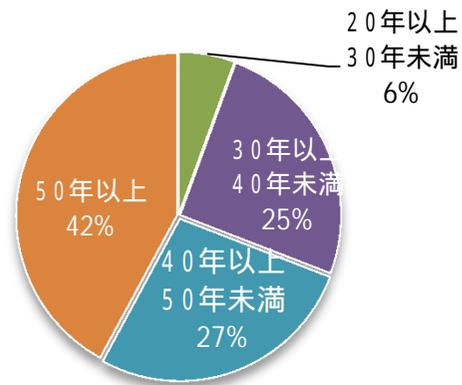
「その他」については、買い物や農作業、仕事の交通手段で必要という回答の他に、ゴルフに必要という回答であった。

また、「運転自体が楽しいから」という回答も2割近くあった。

高齢者の生活スタイルの多様化により、運転する理由も様々であることが読み取れる。

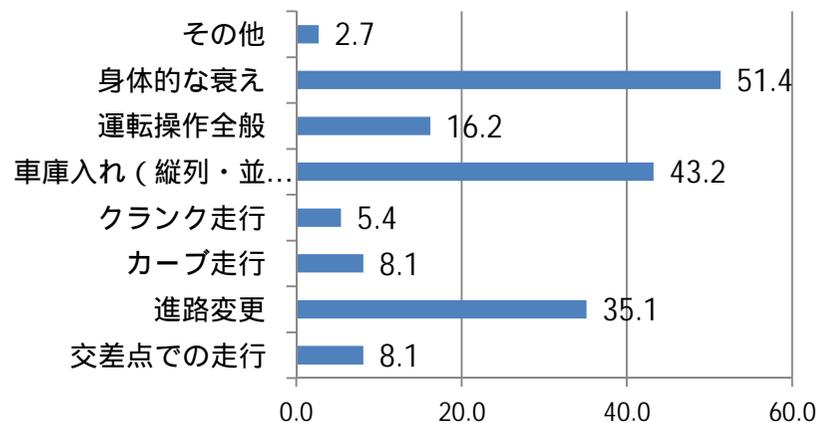
事前アンケート(その1)

【運転歴について】



運転歴については、40年以上が全体の約7割、50年以上も、4割以上。

【運転に自信がない人に聞いた不安な点】



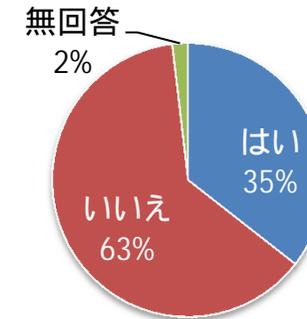
「運転に自信がない」と答えた人の不安な点として「身体的な衰え」が51.4%と一番多かった。ついで「車庫入れ」、「進路変更」の次に「運転操作全般」という回答も2割近くあった。

事前アンケート(その2)

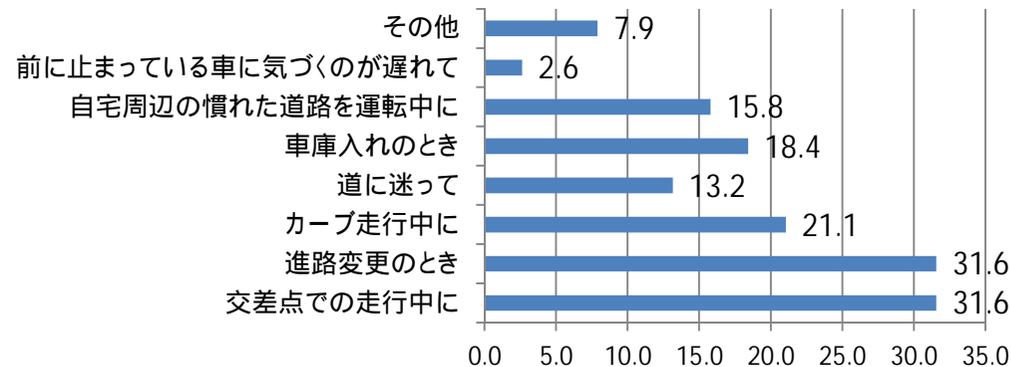
過去3ヶ月以内に運転中にハットしたりヒヤリとした経験はありますか / SA

全体 人数 割合

はい	107	38	35.5
いいえ	107	67	62.6
無回答	107	2	1.9



それはどんなときですか？

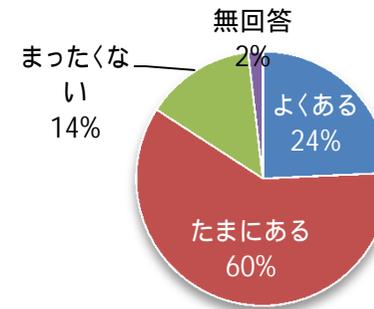


運転中にハットしたりヒヤリとした経験について、4割近くが経験ありと答えている。
内容については、交差点での走行のとき、進路変更のときが一番多く、ついでカーブ走行中や車庫入れのとき、自宅周辺の慣れた道路を走行中という回答の順だった。

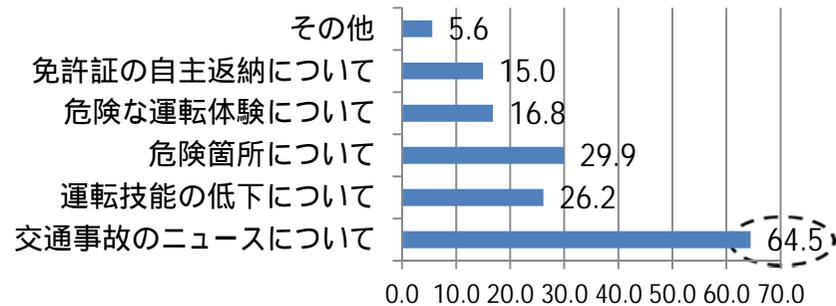
事前アンケート(その3)

交通安全について家族と話を
することがありますか / SA

	全体	人数	割合
よくある	107	26	24.3
たまにある	107	64	59.8
まったくない	107	15	14.0
無回答	107	2	1.9



それはどんなときですか？

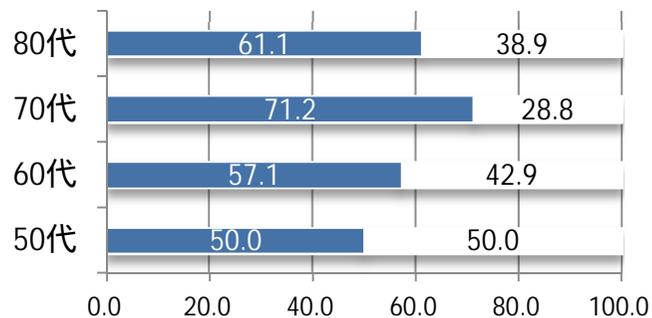


交通安全について家族と話をすることがある人は全体の8割以上。内容は、「交通事故のニュースについて」が最も多く、「危険箇所」、「運転技能の低下」についても全体の3割近くあった。

受講結果(その1)

【事前アンケートで自分の運転について自信がある人】

■ 自信あり 70名
□ 自信なし 37名

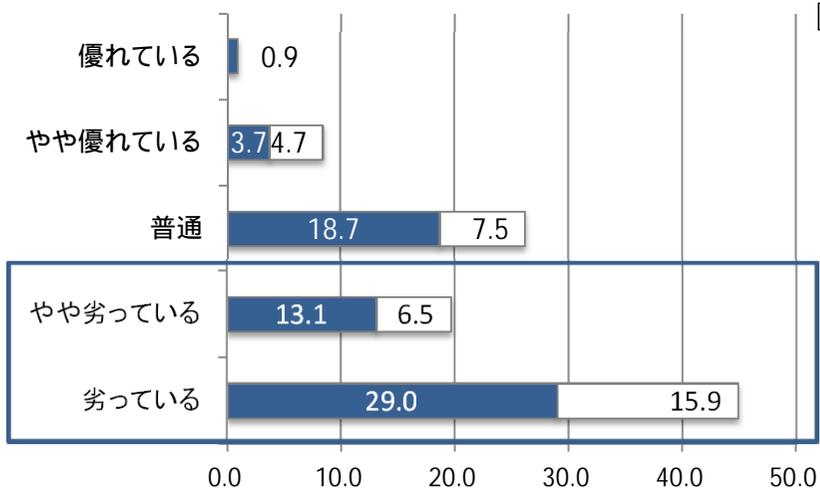


運転に自信がある人は、50代が半数であるのに対し60代が57%、70代では71%と増加傾向にある。80代でも50代より自信のある人の割合が高い。

【視力、視野角度結果について】

動体視力検査について

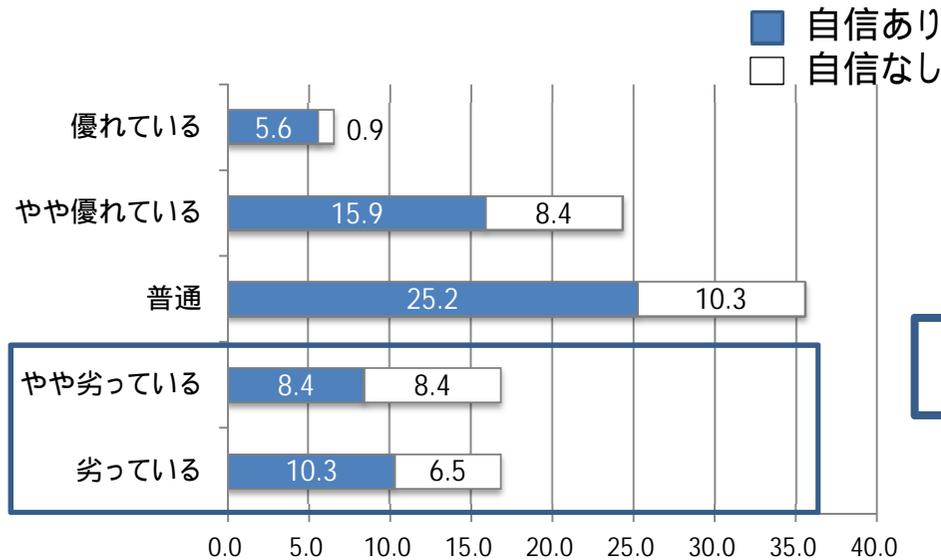
■ 「自信あり」 70名
□ 「自信なし」 37名



「やや劣っている」「劣っている」は全体の65%。
「やや劣っている」「劣っている」のうち、自信のある人は65%だった。

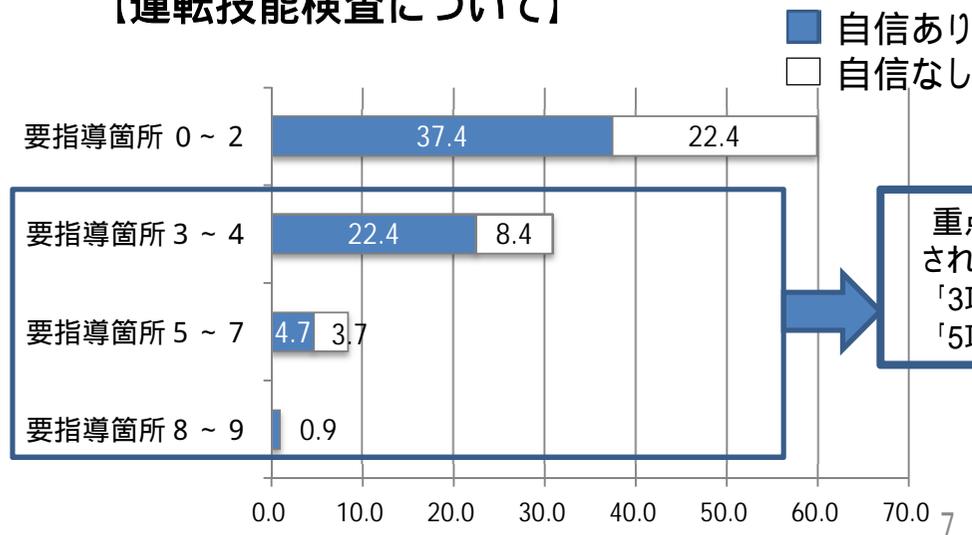
受講結果(その2-1)

【夜間視力検査について】



「やや劣っている」、「劣っている」人は全体の約33.6%
「やや劣っている」、「劣っている」人のうち、自信のある人は56%

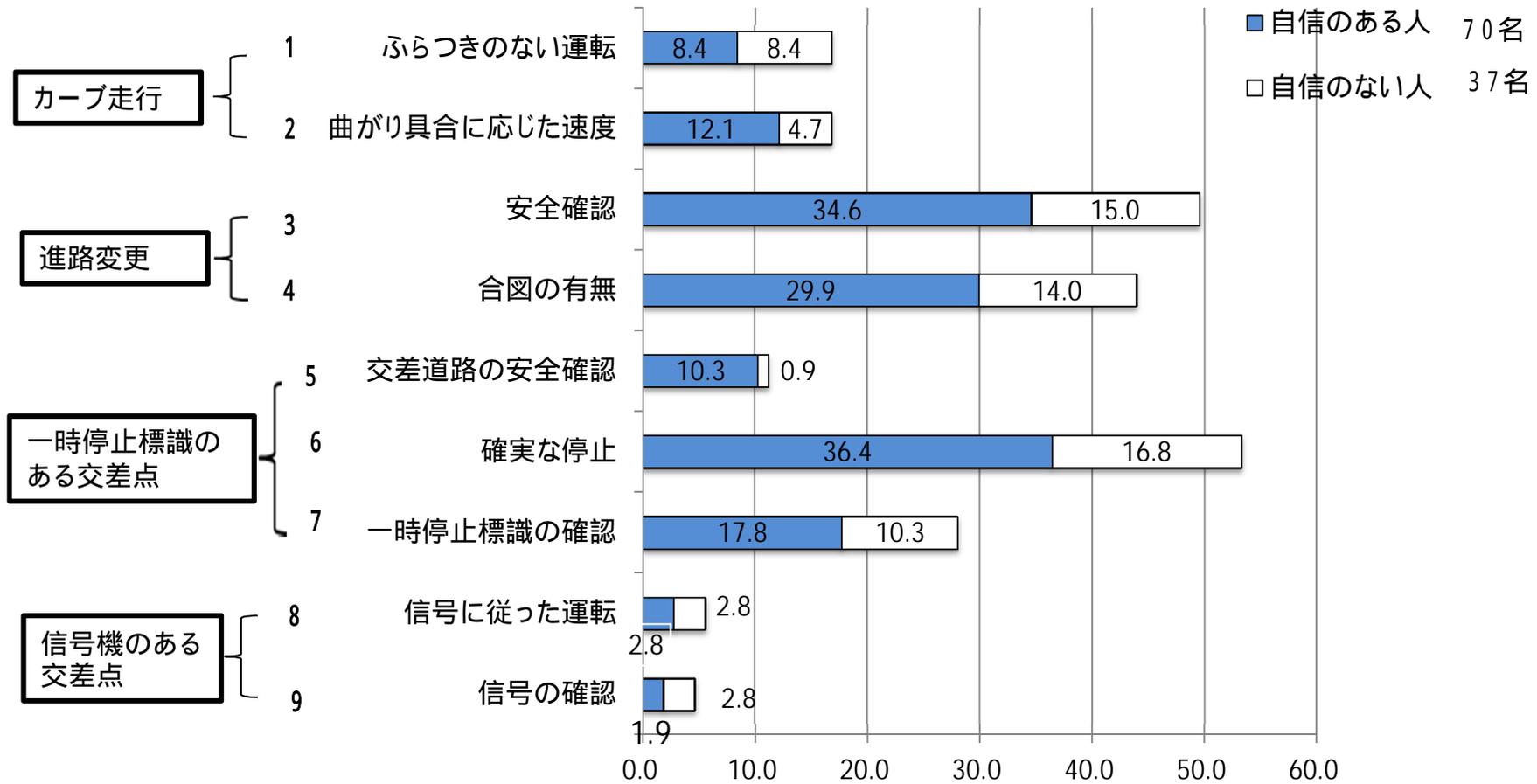
【運転技能検査について】



重点指導項目(9項目)のうち、3項目以上に指導の必要有り指摘された人は全体の40.2%
「3項目以上に指導の必要有り」の人のうち、自信のある人は70%
「5項目以上に指導の必要有り」の人のうち、自信のある人は60%

受講結果(その2-2)

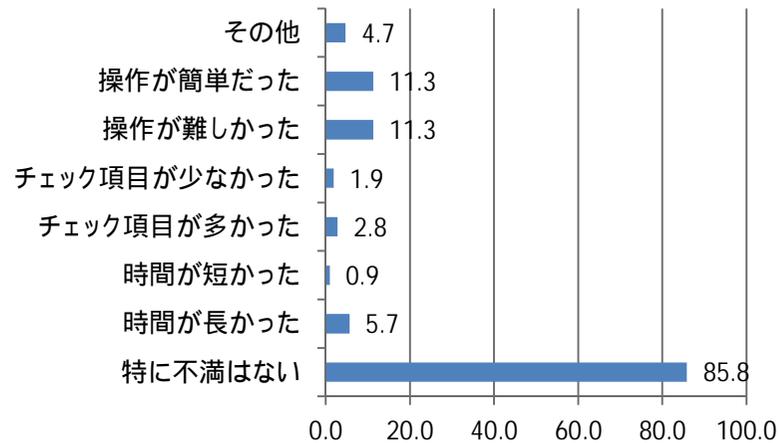
【重点指導9項目について】 指導の必要がある割合



事後アンケート(その1)

【研修内容について】

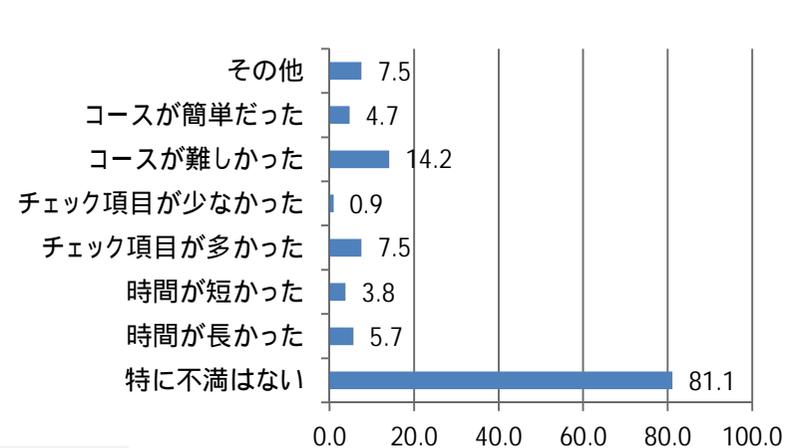
「視力・視野角度チェック」はどうでしたか？



その他

- ・自分の能力がわかってよかった
- ・イスの高さの調整がなく座りにくかった

「運転実技チェック」はどうでしたか？



その他

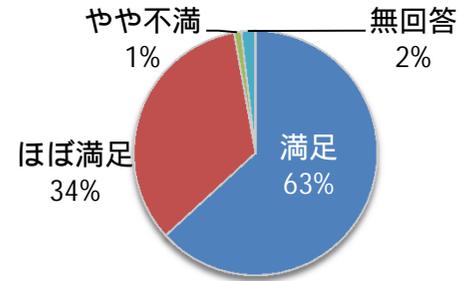
- ・普段は軽自動車なので難しかった
- ・慣れない車で怖かった
- ・方向指示を早くしてほしい
- ・コースの標識と違う指示にとまどった
- ・慣れない車に緊張したが時間が短く感じた
- ・自分の欠点がよくわかり良かった
- ・最初に運転した方は気の毒だった

視力・視野角度チェックについては約9割が特に不満はないと回答。
運転実技チェックは約8割は特に不満がないが、コースが難しいとの回答が14%だった。

事後アンケート(その2)

「個別アドバイス」はどうでしたか？

	全体	人数	割合
満足	106	67	63.2
ほぼ満足	106	36	34.0
やや不満	106	1	0.9
不満	106	0	0.0
無回答	106	2	1.9

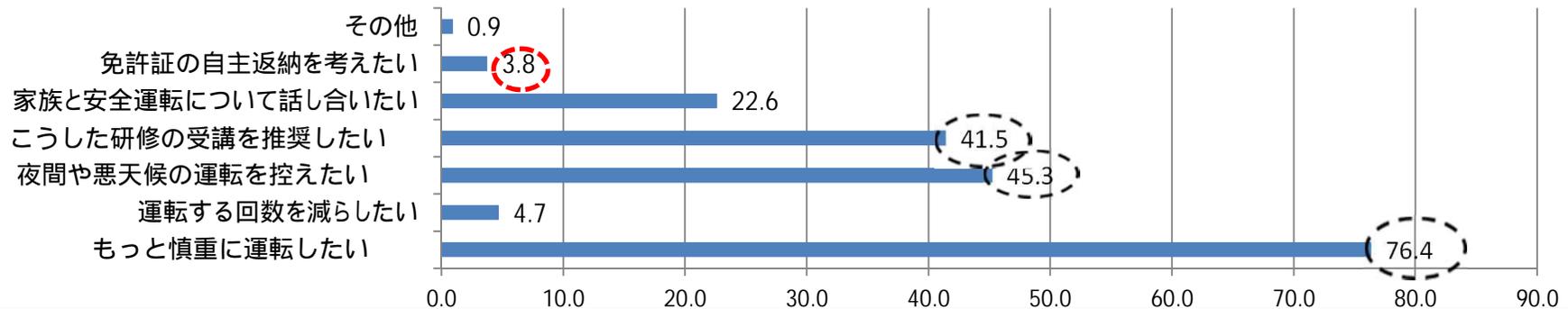


・丁寧に指摘、説明してくれた	・自分が感じていたことをアドバイスされ満足だった
・注意すべき点を指摘された。今後充分心がけたい	・自分の運転の注意点がわかり満足だった
・一般道路でもチェックをしてもらえればうれしい	・ドライブレコーダーがわかりやすかった
・わかりやすい説明で先生方の接し方も非常に良かった	・これからも安全運転をしていきたい
・落ち着いて運転できた	・運転中は充分注意しなければならないことがよくわかった
・普段気がつかないところを指摘され、改めて全てに注意を払って運転しなければならないと思った	・ドライブレコーダーを確認しながら、運転中にもっと確認が必要ながよくわかった
・標識を見過ごした点を丁寧に指導してくれた	・的確なアドバイスで、参考になった
・もう少し早く反応し、ブレーキをかけたい	・自分の運転の癖がよくわかった(逆ハンドル)
・指摘について常に意識して運転したい	・コースが良かった
・親切に教えていただきうれしかった 自分の欠点や運転能力がわかってよかった	・高齢になっても若い頃と同じ気分で運転している自分が恥ずかしいこれから気をつけたい
・停止が不十分なのがよくわかってよかった	・指導員に的確なアドバイスをしていただいた。オートマは初めてだったが良い経験ができた。

個別アドバイスについては、「満足」、「ほぼ満足」との回答が97%あった。

事後アンケート(その3)

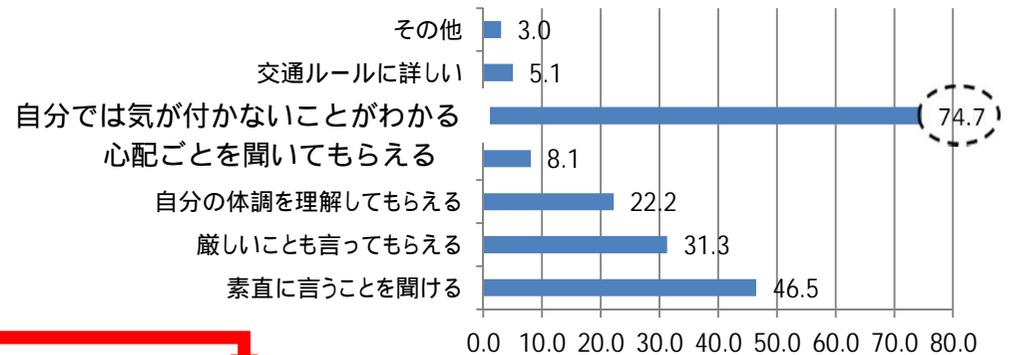
【これからの安全運転の取組について】



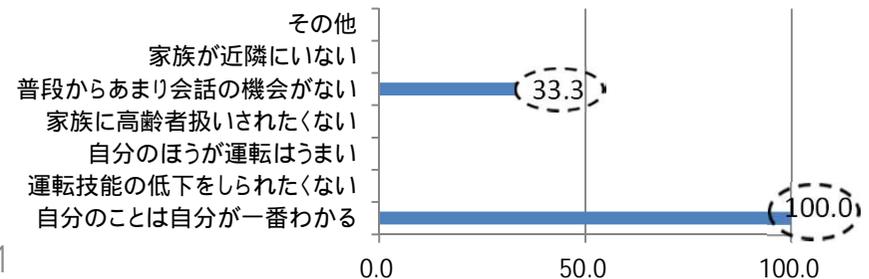
約8割の受講者が「もっと慎重に運転したい」と回答。ついで、「夜間や悪天候時の運転を避けたい」と約半数が回答。また、「自主返納を考えたい」という人が4名いた。

【安全運転に果たす家族の役割について】

	全体	人数	割合
非常に大きい	106	56	52.8
大きい	106	43	40.6
あまり大きくない	106	3	2.8
大きくない	106	0	0.0
無回答	106	4	3.8



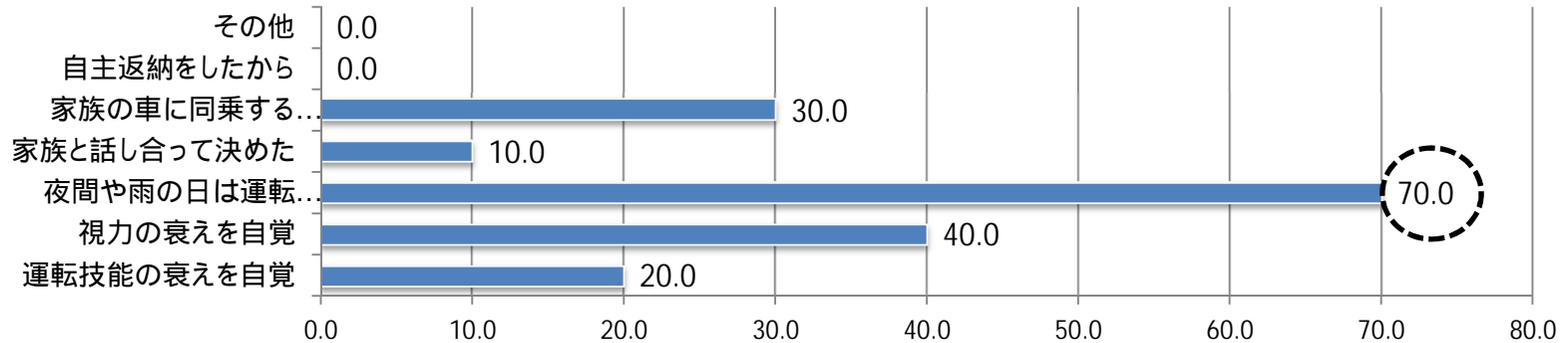
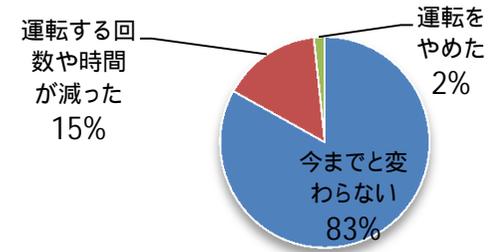
9割以上が、家族の役割について、「大きい」、「非常に大きい」と回答。理由については、「自分では気が付かないことがわかる」という回答が75%で最も多かった。また、あまり大きくない、大きくないと答えた人は、自分のことは自分が一番わかる、普段からあまり会話の機会がないと回答。



フォローアップ講習会アンケート

【受講後の運転の回数や時間について】

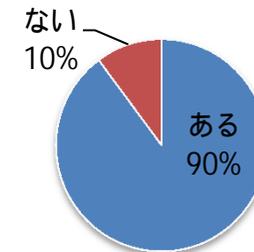
	全体	人数	割合
今までと変わらない	59	49	83.1
運転する回数や時間が減った	59	9	15.3
運転をやめた	59	1	1.7
その他	59	0	0.0



運転する回数や時間が減ったと答えた方の約7割が、夜間や雨の日は運転は控えると答えた。

【受講後の運転の変化について】

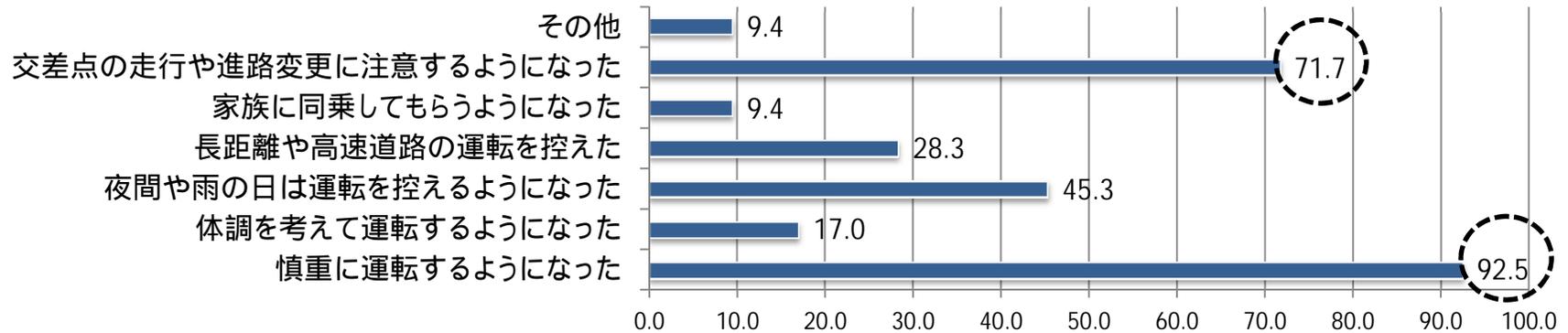
	全体	人数	割合
ある	59	53	89.8
ない	59	6	10.2



受講後の運転の変化については9割があると回答。

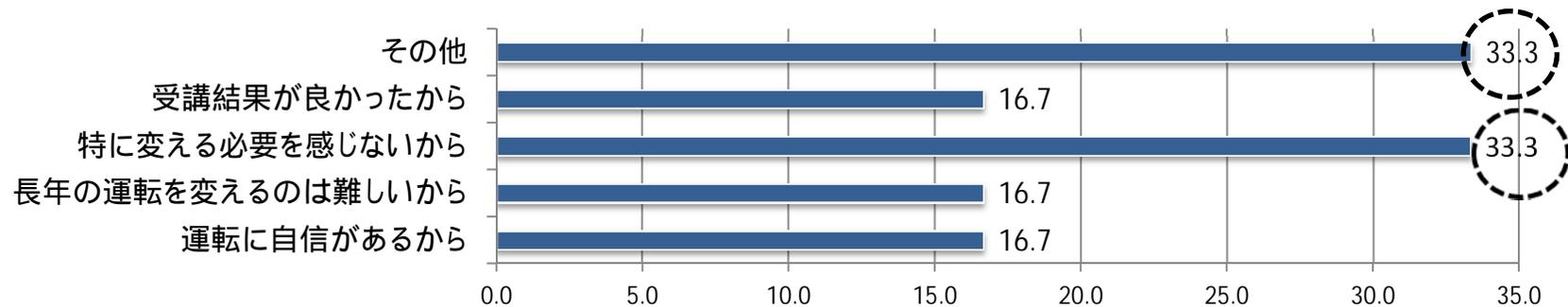
フォローアップ講習会アンケート

【受講後の運転の変化について「あると回答」】



受講後に「慎重に運転するようになった」方が93%、続いて交差点の走行や進路変更
に注意するようになったと72%の方が回答。

【受講後の運転の変化について「ないと回答」】



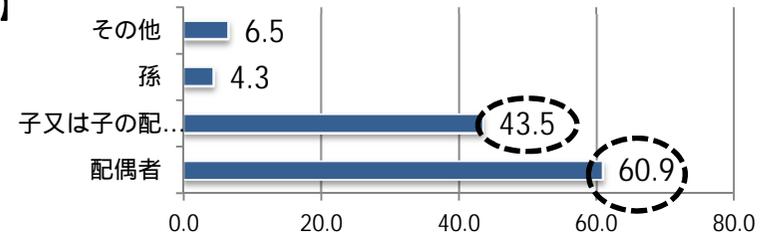
特に変える必要を感じないからが33%、同じく33%の方がその他(普段から不必要に車の
運転はしない、スピードは控えている)と回答。

フォローアップ講習会アンケート

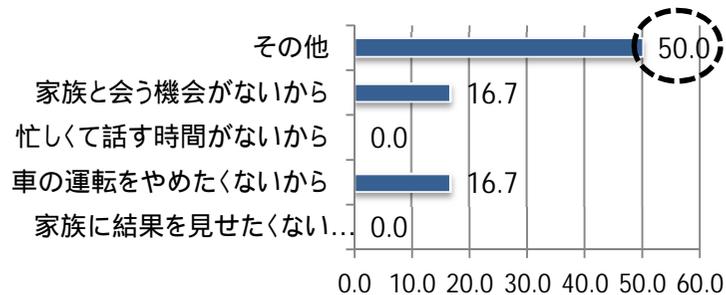
【家族と受講結果について話し合いましたか】

	全体	人数	割合
はい	59	46	78.0
いいえ	59	12	20.3
無回答	59	1	1.7

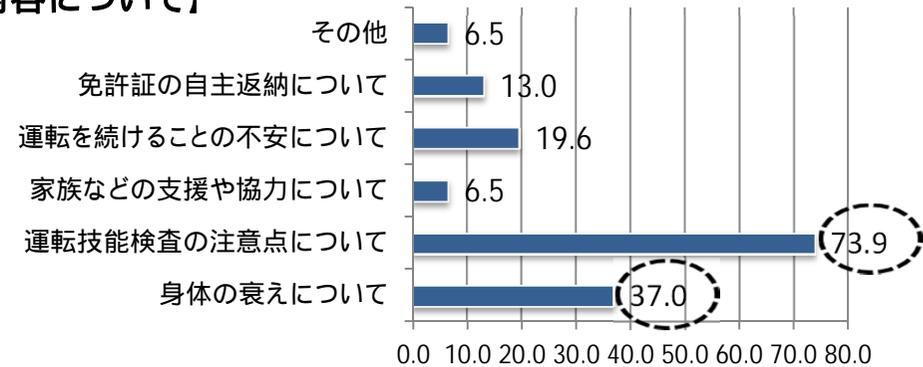
【家族の誰と】



【理由について】



【内容について】

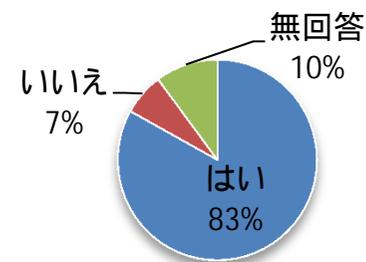


約8割が受講結果を家族と話合ったと回答。配偶者と答えた方が最も多く61%、また半数近くが子又は子の配偶者と回答。内容については、運転技能検査の注意点が約74%。ついで身体機能の衰えが4割、免許証の自主返納についても13%の方が話合ったと回答。「いいえ」と答えた方は、半数がその他(独居のため、話すのを忘れた)と回答。

フォローアップ講習会アンケート

【今後、高齢者交通安全講習の受講を勧めたいですか】

	全体	人数	割合
はい	59	49	83.1
いいえ	59	4	6.8
無回答	59	6	10.2



【自由記述】

- ・大変参考になった
- ・今後も友人を誘って受講したい
- ・客観的に運転についてのアドバイスがもらえる
- ・慣れの運転は法規違反になることを実感。高齢者の交通安全を他の人にも伝えたい
- ・本当に危険な運転をする人に参加してほしい
- ・自分ではきちり一時停止しているつもりだった
- ・1年に1回は受講したい
- ・自分の衰えに気がついてない人が多数いる。1人でも多く受講し機能の衰えをわかって欲しい
- ・運転に自信があっても、受講されると良い
- ・他の参加者の運転も勉強になった
- ・動体視力は加齢とともに低くなるのがわかり、これからは夜間の運転には気をつけたい
- ・細い道路から広い道路に進入時特に注意している。左右の安全、スピード落とす等にも注意している
- ・今後もこういう機会を設けて欲しい。健康のためできるだけ徒歩で移動するようにしている
- ・老いても勉強することで再び取り戻すことが出来た思い。講習で学んだことを生かし安全運転したい

【ポイント】

現状について

公共交通が不便で、移動の支援をしてくれる者がいないために自分で車を運転している。(約7割)
60代、70代と年齢を重ねる毎に自分の運転に過度の自信を持つ傾向がある。
9割近くの人が交通安全について家族と話をしている。
主な内容は、「交通事故のニュース」について。「免許証の自主返納」についても2割近くあった。

検査結果について

運転について自信の有無に関わらず、動体視力についての衰えが顕著である。
運転技能検査については、重点指導項目(9項目)のうち、「3項目以上要指導」という人が全体の4割、さらに「3項目以上要指導」かつ「自信あり」という人は全体の3割弱もいる。項目のうち事故に直結しかねない進路変更時の「安全確認」、「合図の有無」、一時停止標識のある交差点における「確実な停止」の割合は、全体の約半数の方が要指導となっている。

受講後の意識変化について

～研修当日～

受講者の多くが、これからの運転をもっと慎重に運転したいと考えている。(約8割)
「夜間や悪天候時の運転を避けたい」(約半数)
家族の役割について、大多数が「大きい」、「非常に大きい」と考えている。(9割以上)
理由は、自分では気がつかないことがわかるからが最多。

～フォローアップ講習(受講後3～5ヶ月後)～

受講後運転の変化があった。(9割) そのうち93%が慎重に運転するようになったと回答。
家族と受講結果について話し合った。(78%) そのうち13%(6名)が免許証の自主返納についてと回答。

【まとめ】

身体、視覚の衰えを自覚すること、自分の運転能力を把握することで、安全運転意識が大きく向上した。
家族の役割については、高齢者自身が認識しており、事故防止について、家族ぐるみで考える機会を提供できた。